

科目名	財務会計論／財務会計	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	山下 功		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-B-2-440015	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	財務会計は、企業の経営成績と財政状態を測定し、株主・投資者・取引先・政府・地方自治体等の企業外部の利害関係者に報告する会計の仕組みです。それゆえ、管理会計が企業内部への報告を目的とするのに対して、財務会計では企業自身を企業外部へ、会計的にいかに表現するのが重視されます。この授業を履修することによって、ビジネス会計検定試験3級に対応した財務会計の基本的な知識を習得することを目標とします。				
学修到達目標	貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書のしくみを説明できる。 財務諸表分析の技法を用いることによって、財務諸表を読むことができる。				
実務経験との関連性	上場企業で経理業務・会計情報システム構築などに従事した教員が、実務経験を基に財務諸表(決算書)の分析方法の講義を行っています。				

授業計画	
第1回	財務会計とは
第2回	財務諸表とは
第3回	貸借対照表(1)：貸借対照表のしくみ、資産

第4回	貸借対照表(2): 資産(続き)、負債、純資産
第5回	損益計算書(1): 損益計算書のしくみ、売上総利益
第6回	損益計算書(2): 営業利益、経常利益、税引前当期純利益、当期純利益
第7回	キャッシュ・フロー計算書: キャッシュ・フロー計算書のしくみや読み方など
第8回	財務諸表のしくみのまとめ
第9回	財務諸表分析(1): 財務諸表分析の方法、対象、比較など
第10回	財務諸表分析(2): 百分比財務諸表分析
第11回	財務諸表分析(3): 成長性分析、安全性分析など
第12回	財務諸表分析(4): 利益性分析(いわゆる収益性分析)
第13回	財務諸表分析(5): 1株当たり分析、1人当たり分析など

第14回	財務諸表分析のまとめ
第15回	財務会計の実務
第16回	期末定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	教科書を事前に読み、予習ノートに記入します。 90分の授業1回当たり、予習と復習を合わせて180分が必要です。
【復習】時間・内容	復習テストを自己採点し、不正解の問題を解き直します。また、必要に応じて教科書を読み直します。 90分の授業1回当たり、予習と復習を合わせて180分が必要です。

成績評価	
評価基準・方法	期末定期試験90%、授業中などに実施する復習テスト10%で評価します。
フィードバック方法	復習テストの模範解答を示します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	反転学習
教科書/参考書	教科書として、大阪商工会議所編(2019)『ビジネス会計検定試験 公式テキスト3級 第4版』中央経済社、ISBN:9784502301810.を使用します。第2回が始まる前に購入してください。 教材として、拙著『財務会計 予習ノート』を使用します。各自でポータルからダウンロードしてください。
受講上の留意点等	事前に簿記の知識を必要としません。 授業で計算問題を解くことがありますので、電卓を持参してください。なお、期末定期試験では、使用できる電卓が制限されます。
JABEE	